



# 北校だより

貝塚市北441

TEL 422-0173

ファックス兼 423-3070

2014. 1. 8



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます



貝塚市立北小学校長 富田 高弘

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

平成26年(2014年)がスタートしました。保護者、地域の皆様、旧年中は、本校の教育推進にご理解、ご尽力を賜り誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭に当たって、『子どもとの対話・家族の会話』について述べたいと思います。

人は、一人では生きていくことはできません。「対話」や「会話」での言葉を通して、人と人はつながっていきます。一番小さな社会である家庭から、人と人のつながりは始まります。癒しの場として、或いはしつけの場として家庭が機能していくためには、「子どもとの対話」、「家族の会話」がとても重要な役割を果たします。乳幼児期からの親子の愛情溢れる触れ合いや対話、会話を通して、人として生きていくための基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、思いやりの心、善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付けていきます。家庭が安心して生活できる場であり、育てられる場であるとき、子どもたちは思い切り自分の力を伸ばすことができます。

家庭の中での一番身近な会話が「あいさつ」です。「おはようございます」「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」、ごく普通のあいさつです。思春期になって口が堅くなっても親の方からあいさつをすることを続けてほしいと思います。大きな声では返事がしにくくても、心で受け止めています。あいさつは、心を開き、安心感を培います。

「子どもとの対話」を進めるためには、聞き上手になることだと思います。人は、自分の話を聞きながらよく聞いてくれる人に出会ったとき、心から嬉しくなります。「次も話をしよう」と思うものです。また、子どものことが心配なときに、訪問調になって聞き出そうとしがちですが、訪問する前に、受け入れる状況を作ることが大切です。

「家族の会話」のチャンスや時間が仕事が忙しくて、なかなかとれないと悩んでおられる方もいらっしゃるかと思います。家族の誕生日、祝日、日本的行事である節分や雛祭りなど、あるいは一緒に参加した学校行事などをきっかけに、会話のチャンスを作るのも一つの方法だと思います。そして、心の余裕だけは失わないで子どもに目をかけておいて、必要なときに、温かい言葉がかけられると良いと思います。

家庭は、子どもたちの教育の原点です。「子どもとの対話・家族の会話」を通して、子どもたちが大きく成長することを願っています。

### 1月の予定

- 6日(月) 集金振替日
- 8日(水) 始業式
- 10日(金) 委員会
- 15日(水) 縄跳び指導
- 16日(木) マザーグース紙芝居
- 17日(金) 地震想定避難訓練  
クラブ
- 18日(土) PTA実行委員会
- 20日(月) 地震想定避難訓練予備日
- 23日(木) ひまわり号
- 24日(金) クラブ
- 28日(火) 一中新入生保護者入学説明会
- 31日(金) なかよし学習発表会  
クラブ



### 今月の下校時刻変更

8日(水)

全学年とも11時30分(始業式のため)



### 1月のおしらせ

1月下旬より、体育の時間に持久走の練習が始まります。また、休み時間にも例年通り、各学年の学習内容に沿った時間や内容で、持久走の練習を行います。子どもたちの体調管理や、水分補給、汗ふきタオルの準備等、よろしく願いいたします。詳細は、学年からのお知らせをご覧ください。

尚、本年度より、各学年とも記録会の設定は行いませんので、お知りおき下さい。